要介護(要支援)認定を受けるには

身体状況の悪化や認知症などにより、介護保険のサービスを利用するためには、要介護認定が必要です。市に申請すると、およそ30日で認定結果が通知されます。

要介護認定は、認定調査と主治医の意見書により、介護の手間のかかり具合(要介護度)を審査会において判定します。要介護度により、在宅サービスへの支給限度額や施設の利用料金等が異なります。

介護予防・日常生活支援総合事業(総合事業)

制度の概要

総合事業では、従前の通所介護・訪問介護と同様なサービスのほか、いきいき体操教室やふれあいサロンなど、介護予防や生活支援のニーズに応える多様なサービスを総合的に提供しています。

総合事業サービスを利用できる人

介護予防・生活支援サービス事業(従前の訪問介護・通所介護相当サービス、短期集中予防サービス、市独自基準サービス)は、要支援1・要支援2の認定を受けた人及び基本チェックリスト(生活状況等についての簡単な調査)の結果により生活機能の低下が確認された65歳以上の人(事業対象者)が対象となります。
一般介護予防事業(ふれあいサロン、認知症予防教室など)は、65歳以上のすべての人が利用できます。

介護予防・生活支援サービス事業の利用方法

窓口において、利用されるサービスの種類・回数などをもとに、要介護認定調査が基本チェックリストかを選択していただけます。基本チェックリストを選択された場合は、後日高齢者あんしん支援センターの職員が訪問して、基本チェックリストを実施し、該当となれば、サービスを利用することが可能となります。
まずは、窓口(市役所高齢者福祉課、各行政センター、高齢者あんしん支援センター)へご相談ください。

利用者(被保険者)

本人や家族のほか、居宅介護支援事業者(ケアプラン作成事業者)や、介護保険施設にも頼めます。

受付

高齢者あんしん支援センター
市役所本庁・各行政センターの窓口

利用できる介護サービス

非該当
介護予防・日常生活支援総合事業(総合事業)の利用をお勧めします。高齢者あんしん支援センターへご相談ください。

要支援1・2
介護保険の介護予防サービス及び介護予防・日常生活支援総合事業(総合事業)が利用できます。

要介護1~5
介護保険の介護サービスが利用できます。

ケアプランの作成

※ケアプランにないサービスは使えません。
ケアプランに基づいたサービスが利用できます。一定期間ごとにサービスの効果を確認し、利用するサービスを見直します。

介護予防のケアマネジメント

高齢者あんしん支援センターが利用者の状態に合ったケアプランを作成します。(ケアプラン作成を居宅支援事業者に委託することもあります)

介護給付のケアマネジメント

居宅介護支援事業者等のケアマネジャーが、利用者の状態に合ったケアプランを作成します。

在宅サービス支給限度額

要支援1	50,320円
要支援2	105,310円
要介護1	167,650円
要介護2	197,050円
要介護3	270,480円
要介護4	309,380円
要介護5	362,170円

在宅で1か月間に利用できる介護保険のサービス利用料金の上限額

この上限額を超えてサービスを利用した場合は、超えた部分は全額利用者負担になります。

サービス利用額のうちかかった費用の1~3割が自己負担となります。この負担割合は「介護保険負担割合証」に記載されています。

更新申請のお知らせ

要介護認定には有効期間が定められており、引き続き介護サービス希望する場合は、有効期間が終了する前に更新の手続きが必要です。更新の手続きは、有効期限が終了する60日前から行うことができます。更新の時期には、市または居宅介護支援事務所(ケアマネジャー)から連絡します。

サービスの利用がない場合は、必ず更新する必要はありません。相談・再申請はいつでもできますのでご安心ください。

【連絡先】

693-8530 出雲市今市町70
出雲市役所健康福祉部
高齢者福祉課 介護認定係
☎(0853)21-6971
21-6738
21-6739